

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査委託先より検査内容変更の連絡がございましたので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目

- [2391] 遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画(血中)
- [8631] 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査LOX-index

※変更内容は裏面をご確認ください。

#### ■変更期日

- 2023年4月1日(土)受付日分より

※脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 LOX-index の報告書変更につきましては、4月4日(火)ご報告分より変更させていただきます。

以上

■変更内容一覧

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
-	2391	遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画(血中)	所要日数	6~14日	事前にご確認ください
-	8631	脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 LOX-index	項目コード	-	8631
			報告書名称	親 LOX-index 子1 総合判定 子2 sLOX-1 子3 LAB 子4 LOX-index	LOX-index
			報告範囲	親 なし 子1 なし 子2 100未満、100~21999、22000以上 子3 0.3未満、0.3~29.9、30.0以上 子4 100以下、101~440000、(以上の設定なし)	-
			単位	親 なし 子1 なし 子2 pg/mL 子3 $\mu$ g cs/mL 子4 なし	$\mu$ g cs/mL
			報告桁数	親 なし 子1 なし 子2 有効5桁、整数5桁、小数0桁 子3 有効3桁、整数2桁、小数1桁 子4 有効6桁、整数6桁、小数0桁	-
			報告書	別掲参照	

※その他の検査要項に変更はございません。

# 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 LOX-index

測定・解析の最終委託先である株式会社プリメディカより報告書変更の案内がありました。基準値や判定方法に関する変更はありませんが、各測定項目の結果値についてシステム報告を可能とするため、項目構成について変更させていただきます。

## ■報告書の主な変更点

- ① リスク分類の表記変更
- ② 測定項目に対するコメントパターン変更
- ③ 検査に関する説明文章の追加
- ④ 検査履歴表示の仕様変更

## ■報告書比較 ※黄色枠内が変更箇所です。

【新報告書見本】



【現報告書見本】



【新報告書見本】

**検査結果**

**sLOX-1** 検査結果 **320** pg/mL

sLOX-1の値は前回と比べて減少しております。

検査値は、特に高値に達していません。また、高血圧や脂質異常の傾向が認められず、心臓病のリスクは低く見えます。また、生活習慣やストレスの軽減などにより、健康的な生活習慣が保たれていることがわかります。

検査項目	検査値	基準値
年齢	2021/1/18	35歳
性別	2021/1/18	男性
検査日	2021/1/18	792
検査日	2021/1/18	890

**sLOX-1とは**

LDLコレステロールが酸化を促進する働きを高めるsLOX-1は、動脈硬化の進行を促進し、心臓病のリスクを高めます。sLOX-1の値が高いほど、動脈硬化の進行が速いと考えられています。

**LAB** 検査結果 **2.3** pg/mL

LABの値が前回と比べて減少しております。

検査値は、特に高値に達していません。また、高血圧や脂質異常の傾向が認められず、心臓病のリスクは低く見えます。また、生活習慣やストレスの軽減などにより、健康的な生活習慣が保たれていることがわかります。

検査項目	検査値	基準値
年齢	2021/1/18	3.9
性別	2021/1/18	2.8
検査日	2021/1/18	6.7
検査日	2021/1/18	6.7

**LABとは**

LDLコレステロールが酸化を促進する働きを高めるLABは、動脈硬化の進行を促進し、心臓病のリスクを高めます。LABの値が高いほど、動脈硬化の進行が速いと考えられています。

**LOX-index** についてより詳しい情報はこちらから

検査結果を元に、医師が検査結果を元に適切なアドバイスを行います。検査結果を元に、医師が検査結果を元に適切なアドバイスを行います。

検査結果を元に、医師が検査結果を元に適切なアドバイスを行います。検査結果を元に、医師が検査結果を元に適切なアドバイスを行います。

【現報告書見本】

**検査結果**

**sLOX-1** 検査結果 **320** pg/mL

sLOX-1の値は前回と比べて改善し、理想的な値まであと一歩と判定されました。

ただし、受診回数が増え、動脈硬化の進行が確認されています。特に高血圧や脂質異常の傾向が認められず、心臓病のリスクは低く見えます。また、生活習慣やストレスの軽減などにより、健康的な生活習慣が保たれていることがわかります。

検査項目	検査値	基準値
年齢	2021/1/18	35歳
性別	2021/1/18	男性
検査日	2021/1/18	792
検査日	2021/1/18	890

**sLOX-1とは**

LDLコレステロールが酸化を促進する働きを高めるsLOX-1は、動脈硬化の進行を促進し、心臓病のリスクを高めます。sLOX-1の値が高いほど、動脈硬化の進行が速いと考えられています。

**LAB** 検査結果 **2.3** pg/mL

LABの値が前回と比べて改善し、理想的な状態と判定されました。

検査値は、特に高値に達していません。また、高血圧や脂質異常の傾向が認められず、心臓病のリスクは低く見えます。また、生活習慣やストレスの軽減などにより、健康的な生活習慣が保たれていることがわかります。

検査項目	検査値	基準値
年齢	2021/1/18	3.9
性別	2021/1/18	2.8
検査日	2021/1/18	6.7
検査日	2021/1/18	6.7

**LABとは**

LDLコレステロールが酸化を促進する働きを高めるLABは、動脈硬化の進行を促進し、心臓病のリスクを高めます。LABの値が高いほど、動脈硬化の進行が速いと考えられています。

**LOX-index** についてより詳しい情報はこちらから

検査結果を元に、医師が検査結果を元に適切なアドバイスを行います。検査結果を元に、医師が検査結果を元に適切なアドバイスを行います。

検査結果を元に、医師が検査結果を元に適切なアドバイスを行います。検査結果を元に、医師が検査結果を元に適切なアドバイスを行います。

